



第56回 愛媛形成外科研修会

抄録集

日 時 令和8年6月13日(土) 17時00分～

場 所 松山赤十字病院 4階 大会議室

愛媛県松山市文京町1

TEL: 089-924-1111(代)

当番世話人

松山赤十字病院 形成外科 庄野 佳孝

第56回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. 参加受付は、16時30分より会場で行います。
2. 参加費として2,000円を受付にて申し受けます。
3. 演者の方でまだ研修会会員でない先生は、当日受付で入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり5分と3分、質疑応答は3分を予定しています。
5. PCは Windows 11、PowerPoint を使用しての発表になります。なお、OS、バージョン等の影響で調整等が必要になる場合があります（当日は、USBメモリあるいはPC本体をお持ちください）。
6. 当日、駐車場ご利用の方は無料ライターを準備しております。
駐車券を受付までお持ちください。

松山赤十字病院への交通アクセス



松山赤十字病院 館内ご案内



会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成10年7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成10年12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成11年6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年6月26日	26名
第14回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年12月4日	29名
第15回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成17年6月18日	31名
第16回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成17年12月10日	35名
第17回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成18年6月24日	31名
第18回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成18年12月9日	26名
第19回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年6月16日	37名
第20回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年12月15日	30名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第21回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成20年6月14日	30名
第22回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成20年12月6日	30名
第23回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年6月27日	32名
第24回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年12月12日	28名
第25回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成22年6月19日	34名
第26回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成22年12月11日	30名
第27回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年6月18日	31名
第28回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年11月26日	25名
第29回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4階 末広	平成24年6月23日	34名
第30回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成24年12月1日	26名
第31回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成25年6月22日	36名
第32回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2階 楓の間	平成25年11月30日	30名
第33回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成26年6月21日	32名
第34回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カフアリス会議室	平成26年11月29日	32名
第35回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成27年6月27日	36名
第36回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	HITO病院 3階 大会議室	平成27年11月21日	27名
第37回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2階多目的ホール	平成28年6月11日	32名
第38回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成28年12月10日	30名
第39回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3階中会議室①②	平成29年6月24日	36名
第40回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館3階研修室	平成29年12月9日	32名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第41回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4階多目的ホール	平成30年6月9日	27名
第42回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	HITO病院 3階 大会議室	平成30年12月1日	28名
第43回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3階研修室	令和元年6月22日	31名
第44回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂	令和元年12月7日	37名
第45回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和2年12月12日	28名
第46回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	オンライン開催	令和3年6月12日	35名
第47回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2階 多目的ホール	令和3年12月4日	23名
第48回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4階多目的ホール	令和4年6月4日	32名
第49回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3階研修室	令和4年11月19日	31名
第50回	山下 昌宏 (四国がんセンター 形成外科)	ANAクラウンプラザ ホテル松山	令和5年6月10日	30名
第51回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂	令和5年11月25日	24名
第52回	野澤 竜太 (南松山病院 形成外科)	南松山病院 3階 研修室	令和6年6月22日	24名
第53回	三宅 啓介 (済生会松山病院 形成外科)	済生会松山病院 救急棟3階大会議室	令和6年11月16日	19名
第54回	森 秀樹 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	えひめ共済会館 4階 豊明	令和7年6月22日	25名
第55回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	永頼会館 2階 多目的ホール	令和7年12月6日	25名

プログラム

Section I (17:00~17:40)

座長:松山赤十字病院 村上 真吾 先生

1. 転移性腫瘍との鑑別を要したポート部術後紡錘形細胞結節の1例 (5分)

市立宇和島病院 形成外科 浅野 遥奈 他

2. 小児の右頬部に発生した lipofibromatosis の1例 (3分)

松山赤十字病院 形成外科 村上 真吾 他

3. 犬咬傷による耳介欠損の一例 (3分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹 他

4. 後天性血友病A患者の下腿血腫に対する治療経験 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 戸澤 麻美 他

5. 水酸化ナトリウム化学損傷に対して人工真皮を使用した2例 (5分)

愛媛県立中央病院 形成外科 高橋 慶多 他

Section II (17:40~18:20)

座長:松山赤十字病院 庄野 佳孝 先生

6. 左上顎洞癌術後の口腔内皮弁の下垂に対して Caraji®(Anchor Suture System)を用いた一例 (3分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 木村 千寿 他

7. 腹臥位手術時の臀溝から全層採皮の検討 (5分)

松山市民病院 形成外科 上村 由美子 他

8. 局所陰圧閉鎖療法のコストと算定について (5分)

南松山病院 形成外科 野澤 竜太

9. シューレース併用陰圧閉鎖療法のリーク対策としてデュオアクティブCGFを用いた治療経験 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 村上 達郎 他

10. 鼻翼部基底細胞癌の再建の2例について (5分)

四国がんセンター 形成外科 山下 昌宏

休憩 (10分)

総会 (18:30~18:45)

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:40)

座長:松山赤十字病院 村上 真吾 先生

1. 転移性腫瘍との鑑別を要したポート部術後紡錘形細胞結節の1例

¹⁾市立宇和島病院 形成外科、²⁾市立宇和島病院 泌尿器科、³⁾愛媛大学医学部附属病院 形成外科
○浅野 遥奈¹⁾、真田 紗代子¹⁾、大野 毅²⁾、森 秀樹³⁾

(5分)

症例は76歳男性。腎盂癌に対するロボット支援下腎尿管全摘除術後3週で、右下腹部ポート創部に急速増大する有茎性腫瘤を認めた。転移性腫瘍を含め悪性病変との鑑別を要し、生検を施行したところ病理検査で術後紡錘形細胞結節が疑われた。術後紡錘形細胞結節は主に泌尿器科領域で報告される術後反応性病変であるが、腹腔鏡ポート部発生は比較的稀であり文献的考察を加えて報告する。

2. 小児の右頬部に発生した lipofibromatosis の1例

松山赤十字病院 形成外科

○村上 真吾、庄野 佳孝

(3分)

症例は1歳男児。生後3か月頃より右頬部硬結を自覚し徐々に増大したため当科紹介受診となった。右頬部に20×20mm大、淡い紅斑を伴う弾性硬の皮下腫瘍を認めた。MRIでは境界不明瞭で質的診断は困難であり、炎症性変化も鑑別に挙げたが増大傾向から否定的と判断した。全身麻酔下に生検目的で摘出し、病理検査で lipofibromatosis と診断された。若干の文献的考察を加えて報告する。

3. 犬咬傷による耳介欠損の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○森 秀樹、村上 達郎、木村 千寿、戸澤 麻美

(3分)

19歳男性。幼少時に左耳介を犬に噛みちぎられ、肋軟骨による再建術を受けたが、家庭の事情で治療中断していた。父親の愛媛への転勤を契機に治療を希望して当院を紹介された。

4. 後天性血友病A患者の下腿血腫に対する治療経験

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○戸澤 麻美、森 秀樹、木村 千寿、泉本 真美子、村上 達郎

(5分)

90歳男性。X-4年に後天性血友病Aと診断され、当院血液内科にて治療歴があった。数か月前から紫斑形成があり1週間前に当院血液内科を再診していた。2日前に転倒して下腿血腫形成し、腫脹が強く外科的処置が必要と判断され当科に紹介された。血液内科と相談の上、バイパス製剤投与後に局麻下に血腫除去を行ったが、血腫除去部皮下と皮膚切開部から出血が持続し、治療に難渋したため報告する。

5. 水酸化ナトリウム化学損傷に対して人工真皮を使用した2例

愛媛県立中央病院 形成外科

○高橋 慶多、中川 浩志、西 建剛、石野 憲太郎、岡田 将誉

(5分)

両下肢に水酸化ナトリウムによる化学損傷2例を経験した。ともに前医での不十分な除染後に当科紹介となった。本来は早期にpH値を評価しながらの除染やデブリードマンが推奨されるが、初療が遅れたため、demarcation を待っての壊死組織除去を行った。その後、腱露出部に人工真皮貼付して、二期的にPAT及び分層植皮術で閉鎖した。使用した人工真皮2種類の比較と化学損傷で気をつけるべき治療方針につき報告する。

Section II (17:40~18:20)

座長:松山赤十字病院 庄野 佳孝 先生

6. 左上顎洞癌術後の口腔内皮弁の下垂に対して Caraji® (Anchor Suture System) を用いた一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○木村 千寿、戸澤 麻美、村上 達郎、森 秀樹

(3分)

症例は75歳男性。左上顎洞癌に対して当院耳鼻科で左上顎全摘術が行われ、当科で遊離腹直筋皮弁再建を行った。術後のフォローにて口腔内皮弁の下垂、下眼瞼外反、流涙の訴えあり、修正目的で手術の方針となった。皮弁の下垂に対してつり上げを行う際に Caraji® (Anchor Suture System) を用い、良好な結果を得たため報告する。

7. 腹臥位手術時の臀溝から全層採皮の検討

松山市民病院 形成外科

○上村 由美子、手塚 敬、川野 貴大

(5分)

仰臥位手術時の全層皮膚の採取部位としては、当院では、上腕内側、鼠径、下腹部などを選択する機会が多い。下腿後面の腫瘍切除などの場合、腹臥位で手術が施行されることが多く、採皮を腹臥位のままでできれば、手術時間の短縮、効率化が測れると思われ、我々は、臀溝からの全層皮膚採取を行っている。我々の症例を提示し、臀溝からの採皮の利点、注意点などを供覧する。

8. 局所陰圧閉鎖療法のコストと算定について

南松山病院 形成外科

○野澤 竜太

(5分)

局所陰圧閉鎖療法において、レンタルやキットなどのコストと処置点数の算定について、機器や差額を比較検討したので報告する。

9. シューレース併用陰圧閉鎖療法のリーク対策としてデュオアクティブCGFを用いた治療経験

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○村上 達郎、戸澤 麻美、木村千寿、森 秀樹

(5分)

感染創や血腫除去後のポケットに対しては、陰圧閉鎖療法(NPWT)とシューレース法の併用治療(VAST:vacuum assisted shoelace technique)が有用であるが、しばしばリークトラブルに悩まされる。今回、リークしやすい部位でのVASTの工夫として、デュオアクティブCGFを併用して一定の成果を得たが課題も見つかった。

10. 鼻翼部基底細胞癌の再建の2例について

四国がんセンター 形成外科

○山下 昌宏

(5分)

鼻翼部基底細胞癌にて腫瘍切除後、2期的再建をおこなった。1例は植皮、1例は鼻唇溝皮弁でおこなった。再建後整容面としては poor であり、再建方法について諸先生方に御指導御教授をお願い申し上げます。

休憩 (18:20~18:30)

総会 (18:30~18:45)

1. 次回研修会の日程

2. その他